

かがやく 瞳



PTA授業参観ありがとうございました

昨日はお忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、授業参観並びにPTA総会・学年懇談会・専門部会を開催することができました。誠にありがとうございました。最近、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることもほとんどなくなり、無事にPTA授業参観を行うことができ大変嬉しく思います。本校職員も、多くの保護者の皆様と直接お会いして、懇談できたことを喜んでおりました。今後ともいろいろなご意見をいただければと思っています。よろしくお願いいたします。



昨日の総会での挨拶は、時間のなかで、お伝えできない内容もありましたので、重なる部分もありますが、紙面でもご挨拶させていただきます。

3名の新職員、12名の1年生を迎え87人の児童と17人の職員で令和5年度がスタートして、3週間が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の拡大も見られなくなり、連休明けには5類相当に移行しようとしています。そんな中、新しい学年の教育活動が順調に進められています。進級・入学に際して、ご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

令和3年度に、PTA組織の改編が行われたとのことで、役員を選出等はスムーズに行われたように感じております。専門部の改編等もあり、うまく作用している部分ともしかしたら、うまく機能していない部分もあるかもしれません。「持続可能性」と「交流」をねらいとした組織の改編について、PTA活動の中で意見を出し合いながら、よりよい組織をつくりあげていきたいものです。皆様からのご意見をおまちしています。

今年度の学校の基本方針も、**学校はみんなの自己有用感を育むところ**としました。「子ども・保護者・職員、そして地域の皆様」を「みんな」とし、保護者や教職員のみならず、地域の皆様からお手伝いをいただきながら、一緒に子どもの成長を見守っていくことで、「地域の学校を守っている」という充実感に繋げていただけたら幸いです。みんなが子どもの教育や成長を通して、保護者も職員も役割を果たしながら活動し学び合って成長する。そして、一人一人が「だれかのためになった」「だれかに喜んでもらった」と自己有用感を感じる。そんな学校を目指して、この基本方針としております。本校PTAの組織力を生かし、みなさんと基本方針に沿って日々の教育活動に努めたいと思います。

最後となりましたが、お忙しい中、本校PTA活動に多大なるご尽力をいただいた〇〇〇〇会長さん、〇〇〇〇・〇〇〇〇副会長さんはじめ旧役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。また、今年度会長を務めていただく〇〇〇〇さん、副会長の〇〇〇〇〇さん・〇〇〇〇〇さんをはじめとする、新たな役員の皆様、今年度も東大曲小学校のPTA活動を通して、みんなが自己有用感を高め成長していくよう今年度も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

交通安全教室が行われました

今日は好天の下、交通安全教室が行われました。見守り隊の土田様、矢吹様、交通安全協会の佐藤様、そして大仙警察署から2名の方が参加してくださいました。初めに、体育館で歩行や自転車の乗り方についてご指導いただきました。その後、外に出て1・2年生は歩行の仕方、3～6年生は自転車の乗り方について実際に教えていただきました。今日教えていただいたことを、これからの生活に活かし、安全な歩行・自転車の乗り方に気を付けて過ごしてもらいたいと思います。

※警察の方から、「全体指導で言い忘れたので伝えてほしい」と言われたことをお知らせします。

自分が歩いたり・自転車に乗ったりしている時、車などにぶつかったり、接触したりした場合は、怪我をしていなくても、必ず、その場で近くの大人に知らせること。

怪我をしていればすぐに救急車や警察を呼びますが、怪我をしていなくても、近くの大人に知らせ、警察などに連絡してもらうことをお子さんと確認してください。よろしくお願いします。



全国学力学習状況調査を行いました

全国学力学習状況調査が、18日（火）6年生を対象に行われました。文部科学省のリーフレットより原文を抜粋して内容についてお知らせいたします。

【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査対象】

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

【調査内容】

① 教科に関する調査（国語・算数）各45分

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|---|---|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など | 指導方法に関する取組や人的・物的な条件の整備の状況等に関する調査 例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など |

<以上、文部科学省リーフレットより>

<調査終了後の本校の取組について>

- 本校では調査実施後、自校採点し、秋田県の平均と比較するなどして学力や学習状況を独自に分析します。そして、分析結果を授業の改善に活用することとしています。
- 調査終了後、6年生では、誤答が多かった問題を中心に指導を行い定着を図ります。
- 今後、文部科学省からの結果が送られてくることとなっております。一人一人の結果が個票として届けられます。届けられ次第、個別指導を行って家庭にお届けします。